

今週の活動から



3月11日(金)、厚木市中央公園で開催されました。釘丸久子議員が、厚木市議会の消費税増税反対の陳情について審議の様子を報告しました。(上:釘丸久子議員)



厚木市には応急対策用井戸が3カ所(ぼうさいの丘・荻野運動公園・飯山)あります。飯山にある井戸は、周辺は田んぼで避難場所にはなっていません。(下:栗山香代子議員)

3月の法律相談

3月22日(火)13時~

前日迄の連絡を!

農業委員会法の改正で「農民の地位向上に寄与」が削除 だれのための農業委員会か?

都市経済常任委
3月9日(水)

農業委員と農地利用最適化推進委員会を設置

3月9日(水)の都市経済常任委員会で審議された「厚木市農業委員会の委員及び厚木市農地利用最適化推進委員定数条例について」は、農業委員会法改正を受けての条例案です。所管は環境教育常任委員会と都市経済常任委員会です。

厚木市には厚木市農業委員会があり、委員の定数は21名。農業委員の定数を13人とはほぼ半分に、そして農業委員会が選ぶ「農地利用最適化推進委員」の定数を14人にするというものです。

農業委員会って何?

「農業委員会」って聞いたことが無い方もいるでしょう。昭和26年にできた「農業委員会に関する法律」の第1条では法律の目的を「農業生産力の発展及び農業経営の合理化を図り、農民の地位向上に寄与するため、農業委員会、都道府県農業会議及び全国農業会議所について、その組織及び運営を定めること」としていました。

しかし、昨年の9月4日の法改正により「農民の地位向上に寄与するため」がなくなっています。改正後「農業生産力の増進及び農業経営の合理化を図る

あつぎの森がオープン

「あつぎ」こともの森公園」が完成しました。荻野運動公園北側8鈴に、将来を担う子どもたちの自然体験活動の新たな拠点として整備されたものです。

745mの空中回廊、日本一の長さ106mの滑り台があり、農業体験、自然体験、冒険遊びができるとしています。



3月12日の開園記念式典後、公園内を散策してみました。子どもたち

には滑り台が大人気です。森の空中回廊は最高地点10m、地面からは見えない木の肌や高い位置の葉や実の付いた様子がよくわかります。通路の一部が網状で下の地面が見えます。高所恐怖症の人はちよつと怖いかも...

基本構想策定から6年、総額11億4300万円です。ミズナなどの希少種が発見され、その保護が論議になりました。



市は、将来的には運営の一部を環境団体など市民組織に担ってもらおうと考えています。またヤマビル対策が今後の課題です。

ため、農業委員会の組織及び運営並びに農業委員会ネットワーク機構の指定等について定め、もって農業の健全な発展に寄与すること」となっています。

また、所掌事務では「区域内の農業及び農民に関する事項について、意見を公表し、他の行政庁に建議し、またはその諮問に応じて答申することができる」が削られているのです。

さらに、農業委員は選挙で選

これでは、農業委員会から農民の代表機関としての権限を奪い、農地の最適化、流動化のみを行う行政の下請け機関になってしまします。誰のための、何のための農業委員会なのでしょう。TPPや農業への企業参入を視野に入れたものであり、日本の農業を守るはずの農業政策ではなくってしまします。